

7月～8月の議会の動き

議 会 活 動

要 望 書 提 出

第 3 回 臨 時 会

前議長 古川庄平氏 自治功労者表彰伝達式



県町村議会議長会の自治功労者表彰（議長として在職6年以上）を受けた、前議長の前議長古川庄平氏への表彰伝達式を7月7日、議場で行いました。

インフルエンザワクチン接種助成制度を設けること



5月8日に議会から町に提出した要望書内容を継続するとともに、その内容に追加する内容の要望書を7月17日に正副議長から町長へ提出しました。

新型コロナウイルス感染症予防対策状況視察（文教厚生常任委員会）



ばんげ保育所視察

7月16日、文教厚生常任委員会ではばんげ保育所、坂下南幼稚園、坂下南小学校での新型コロナウイルス感染症予防対策の現状を視察しました。それぞれに新しい生活様式を取り入れた対策を講じていました。



おもちゃ消毒



各教室の消毒

「新型コロナウイルス感染症による医療崩壊を防止するための要望書」

新型コロナウイルスの流行期がインフルエンザの流行期と重なった場合、医療現場の負担や混乱は必至で、医療崩壊を招きかねないため、それを防止するため、下記について要望します。

1. 令和2年度において、全町民を対象としたインフルエンザの予防接種の助成制度を設けること。
2. 民間医療機関が行う対策に対する支援策を検討すること。

【補正予算で対応した主な事業】

- 4月28日以降に生まれた新生児へ10万円給付
- プレミアム付き商品券事業
- 糸桜里の湯温泉利用券（1世帯2,000円分）
- テレワークセンター整備事業 など

渡部正司議員

一次支援の執行事業で漏れがないかチェックしながら進める配慮が見られた。町の事情で今まで決断に至らなかったものが、今回取り上げられたのは、担当のファインプレーだと高く評価します。第六次振興計画基本理念である「みんなでつながる」に沿った核心の姿勢、考え方であると思う。

賛成

討論

第3回臨時会を7月22日に開催しました。今回の臨時会は、新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金の第二次交付に伴う事業費の補正予算が主なものとなりました。歳入歳出予算総額に3億1千555万5千円を追加し、総額9億2千621万8千円とし、全員賛成で可決しました。

議員と職員の合同研修会開催



8月28日、会津坂下町の財政健全化についてアドバイスをいただいている、関西学院大学大学院経済学研究科人間福祉学部の小西砂千夫教授を講師にお招きし、「財政の基礎及び当町の財政状況と議員としての取り組みについて」をテーマに、研修会を行いました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今年是他市町村などへ行政視察研修も実施不可能となっていました。財政健全化最重点期間として取り組んでいる今、議員として何ができるのかを、財政健全化アクションプランを基に研修を行いました。コロナ禍により次年度以降の地方交付税や地方臨時財政対策債などがどのように変化していくかなど、とても有意義な研修会でした。

【議長より】

例年実施している行政調査がコロナ禍で困難となったため、町財政健全化に対する研修会を「三密」を避けるため、議場にて町職員と一緒に受講しました。活発な意見交換がなされ、財政健全化に向けて議会と行政が両輪となって研修の成果を上げてまいります。



教えて！議会のことば Part 2

◆委員会付託

本会議に提出された案件について詳しく検討を加えるために、常任委員会または特別委員会に審査を託すこと。

◆委員長報告

委員長が委員会での審査結果や調査経過などについて、本会議で報告すること。

◆意見書

地方自治法第99条の規定に基づき、町は公益に関することについて国会、国、県など関係行政庁に対し、議会の意思を意見としてまとめた文書を提出することができます。意見書の案は、議員が提出し本会議でその可否を決めます。

県町村議会議員研修会



10月8日に郡山ユラックス熱海において、県町村議会議員研修会が行われました。コロナ禍の中での開催で、ソーシャルディスタンスなど感染予防対策を講じた中での研修会でした。早稲田大学大学院教授の片山善博氏による「ポストコロナの地方自治を考える」、政治ジャーナリストの角谷浩一氏による「今後の政局・政治の行方」をテーマにしての研修でした。コロナ禍での地方議会がやるべきことについて再認識することができました。



みんなのひろば



近藤 勇雄さん
(見明)

奥様想いの
誠実な方です！

コロナ禍により不自由な生活を強いられています。

2月末、これから忙しくなるので妻と温泉旅行へでもと思っていた矢先にコロナ問題。すべてキャンセル。

私は農家なので3月から6月ころまでは米作りのいろいろな作業（苗箱土入れ、ハウスビニールかけ、播種、田耕、代掻き、田植え、除草剤散布等）の為あまり人とも会わず、三密になることもなく過ごしてきました。その間国及び町からの給付金等いろいろな支援をいただき大いに助かりました。

農業収入の下落がささやかれる中、コメの価格が大変気になります。幸い今年の作柄は平年通りのように思われます。来年も米作りができるような価格になることを祈っております。

一刻も早くコロナ問題が収束し、ワクチンが開発され自由にかけられる日が来ることを祈ってやみません。

(令和2年8月15日 寄稿)



斎藤 あつ子さん
(大上)

仕事も子育ても
一生懸命な
お母さんです！

新型コロナウイルス感染拡大以降、初のインフルエンザ流行期を目前に控えています。厚労省は、ハイリスク者

に対して、優先的にインフルエンザワクチンを接種させる方針です。今季は特にその需要が高まる事が予想されます。そこで、町政に乳幼児のインフルエンザワクチン接種費用の助成を求めます。この町に嫁いで十年、独自の子育て支援に助けられて感謝しています。命、健康を守る行政であって欲しいと今後の施策にも期待しています。

(令和2年9月14日 寄稿)



次回定例会のご案内

令和2年第4回定例会は、12月3日から11日までの会期（予定）です。一般質問は12月7日（月）、8日（火）午前10時開会予定です。
傍聴にぜひお越しください。傍聴の際はマスクの着用をお願いいたします。

編集後記

黄金色の稲穂に敷き詰められた田園風景も、あつという間に刈り取られ冬支度を待つばかりとなりました。

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言解除から既に5か月が過ぎました。当町は感染拡大防止対策に全力で取り組んでいます。これから気を緩めることなく、この現状を乗り越えなければなりません。

また、自然災害の規模も拡大している現在、防災の課題も多く残されています。個人の防災意識の向上は元より、町民の意見を取り入れた安心安全な町づくりを進めていかなければならないと考えています。

(委員 目黒克博)

広報広聴特別委員会

委員長	青木美貴子
副委員長	横山 智代
委員	目黒 克博
委員	蓮沼 文明
委員	小畑 博司